みず・みどり　みまもり　はぐくむ　森がすき

み～も通信

水と緑の森づくり情報誌

冬 WINTER

2009.1
Vol.15

企業による森林保全活動が進んでいます。

近年、企業の社会的責任（CSR）活動の一環として、森林保全活動に取り組まれる企業が増えてきています。こうした活動を支援するため、県では平成18年度に企業の主体的な森林保全活動を支援する「しまね企業参加の森づくり制度」を創設しました。

この度、この制度の４例目として三井住友海上火災保険㈱と県などが協定を締結しました。三井住友海上火災保険㈱では、大田市大森町の石見銀山遺跡周辺の森林において今年３月より保全活動を始められます。

平成20年10月、三井住友海上火災保険㈱との協定調印式

また、一昨年協定を締結した島根県トラック協会の第１回保全活動が、10月11日に松江市玉湯町の山林で行われました。当日は溝口知事も参加し、クリ・ヤマザクラ・ヒノキなどの植栽が行われました。

㈳島根県トラック協会のみなさん

㈳島根県トラック協会会員事業者やその家族による植樹活動

一方、企業による新たな森林保全活動への支援の一環として、コカ・コーラウエストジャパン㈱、キリンビバレッジ㈱による森林保全活動支援の自動販売機が県庁４階・６階に設置されました。この自動販売機の売り上げの一部が、島根県の森林保全活動への活用を目的に、島根県に寄付されます。

島根県では、今後このような自動販売機を県内各地の公共施設を中心に設置をしたいと考えています。

コカ･コーラウエストジャパン㈱：県庁4階

キリンビバレッジ㈱：県庁6階

出雲地域での取り組み事例

実践事業取り組み情報

手引きヶ丘公園 森の自然観察路づくり

団体名●NPO法人　風の子たき
場　所●出雲市多伎町口田儀　手引きヶ丘公園

出雲市多伎町を拠点として活動しているNPO法人風の子たきでは、田儀駅の裏山にある手引きヶ丘公園において、そこで暮らす動植物とふれあうことによって、島根の大切な資源である森に対する理解と愛情をはぐくむ活動を行っています。

今年度は①自然観察場づくり②憩いの木製ベンチづくり③解説版・案内板づくりをボランティアを募り行いました。

憩いの木製ベンチづくりには親子の参加を募りました。出来上がったベンチには制作者の名前を書いてもらいました。

風の子楽習館のサポートスタッフなどのボランティア活動により自然観察場を作りました。

多くのボランティアの協力により完成した自然観察場

完成直後の7月26日には早速セミの羽化観察会を行いました。
11月24日はあいにくの雨でしたが樹木観察会を開催しました。
風の子楽習館では様々な自然体験メニューを用意して、多くの子供たちが訪れるのを待っています。

セミの羽化観察会

樹木観察会

島根県内で行われている「森づくり事業・資源活用事業」を紹介するよ。
みんな、森を元気にするために頑張っているよ！

「森づくりは海づくりin浜田」植樹事業

平成20年11月16日●実施主体／浜田市

漁業が盛んな浜田では、漁協を中心に「漁民の森づくり」が長年行われてきました。今年からは、浜田市内の漁業者に加えて林業者、一般企業や市民にも「豊かな森づくり活動を通して、良好な漁場をつくろう！」と呼びかけて、継続していくことになりました。今年は、三隅町高城山の麓で、松くい虫被害跡地0.65haの山林を整備し、約100人が参加してヤマザクラ650本を植樹しました。参加者からは、「また、桜の花見に訪れたい。」という声が聞かれ、今回の活動に満足な様子でした。

椿の里周辺森林整備・景観保全事業

平成20年11月27日●実施主体／江津市

江津市島の星町「椿の里」周辺の松くい虫被害跡地約1haを整備し、ヤマザクラ1000本、ウメ500本、ヤマモモ500本、計2000本を植樹しました。植樹には郷田小学校４～6年生42名が参加、江津市森林組合のほか、樹木医の浅浦徹さんや森づくりプロデューサーの稲岡英治さんが指導にあたりました。海をバックに咲き誇るヤマザクラが今から楽しみです。

少年の心と緑を育むフットサル大会

平成20年10月18日～19日
実施主体／第2回小学生フットサル石見交流選手権大会実行委員会

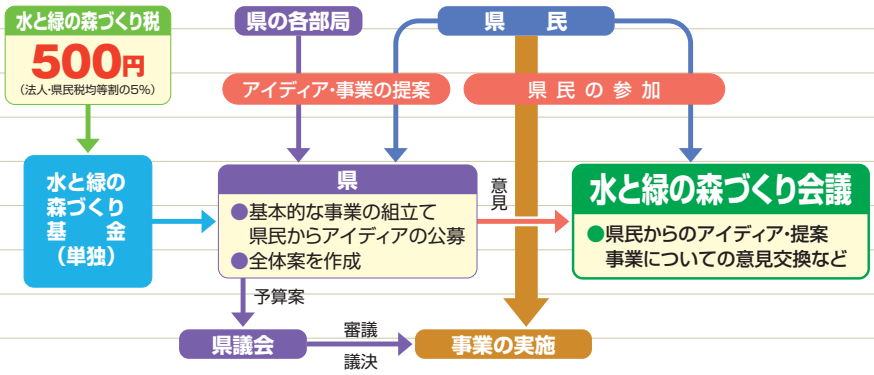
浜田市弥栄町にあるフットサル競技場でフットサル大会を開催するに当たり、「緑が深い弥栄ならではの大会を」との思いから、大会参加者を対象に、森林体験活動などが行われました。森林組合や森林インストラクターの指導のもと、大会前日の1日目には記念植樹やネイチャーゲーム体験、大会当日の2日目には試合の合間を利用し木工体験が実施されました。参加した子ども達は、樹木や木材に触れることができ、弥栄でしか体験できないこの大会を満喫していました。

水と緑の森づくり事業とは

目的

広く県民が享受している森林の公益的機能が失われつつある荒廃林を再生し、水を育む緑豊かな森を次の世代に引き継ぐための取り組みを推進する。

事業のしくみ



●こちらもご覧ください
税の仕組みについて▶ http://www.pref.shimane.lg.jp/life/zei/ken/syurui/futuu/mizuto.html
税の使い道について▶ http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/mizumori/

事業内容

森づくり・資源活用実践事業

●県民の提案による、森を保全したり、森（木材）を利用したりする取り組みに対する助成

森を保全する取り組み

森を利用する取り組み

森づくり推進事業

●水と緑の森づくり税や税を活用した取り組みのPR
●森づくり活動サポート体制の整備

水と緑の森づくり会議

森づくりプロデューサー養成

県民再生の森事業

●不要木の伐採、侵入竹の伐採、広葉樹の植栽、管理道の開設等を実施する事業

みーも通信に関するご感想・ご意見募集

みーも通信に関するご感想・ご意見を募集しております。下記発行元へご送付いただくか、右記アドレスへメールでお送りください。E-mail:ringyo@pref.shimane.lg.jp

みーも通信 水と緑の森づくり情報誌
冬号 2009.1 Vol.15

●発行：島根県農林水産部林業課　水と緑の森づくりスタッフ
〒690-8501 松江市殿町 1 番地
TEL0852-22-5170　FAX0852-22-6167
http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/mizumori/

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK ※環境にやさしい大豆インキを使用しています